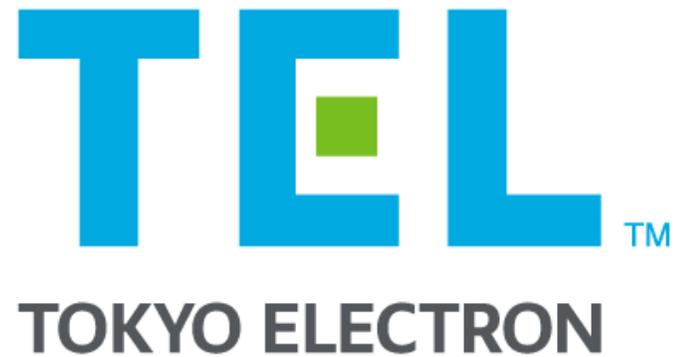


第56期 定時株主総会



2019年6月18日

第56期 業績報告

連結損益計算書

	第55期		第56期		増減
		(%)		(%)	
売上高	11,307	100.0	12,782	100.0	+1,475
SPE	10,552	93.3	11,667	91.3	+1,115
FPD	750	6.7	1,112	8.7	+361
その他	4	0.0	1	0.0	△2

SPE: 半導体製造装置

FPD: フラットパネルディスプレイ製造装置

連結売上は市場成長率を超えた前期比+13%の増収

連結損益計算書

	第55期	(%)	第56期	(%)	増減	(億円)
売上高	11,307	100.0	12,782	100.0	+1,475	
売上総利益	4,750	42.0	5,261	41.2	+511	
営業利益	2,811	24.9	3,105	24.3	+293	
経常利益	2,807	24.8	3,216	25.2	+409	
税引前利益	2,752	24.3	3,215	25.2	+462	
親会社株主に帰属する当期純利益	2,043	18.1	2,482	19.4	+438	

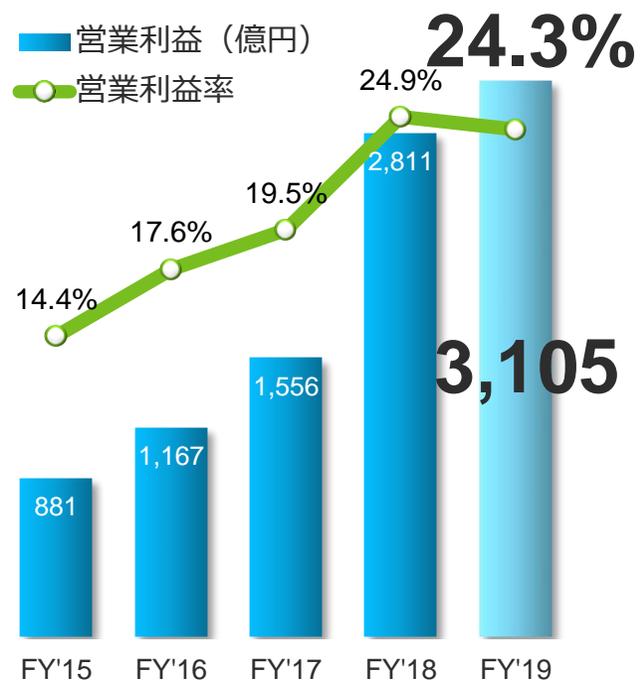
売上高、各利益はいずれも過去最高を更新

5年間の業績推移

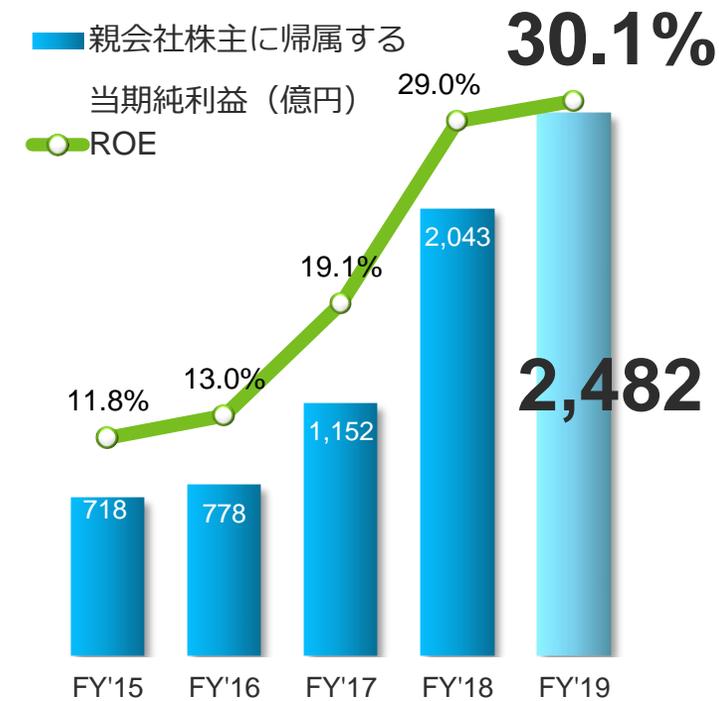
売上高と売上総利益率



営業利益と営業利益率



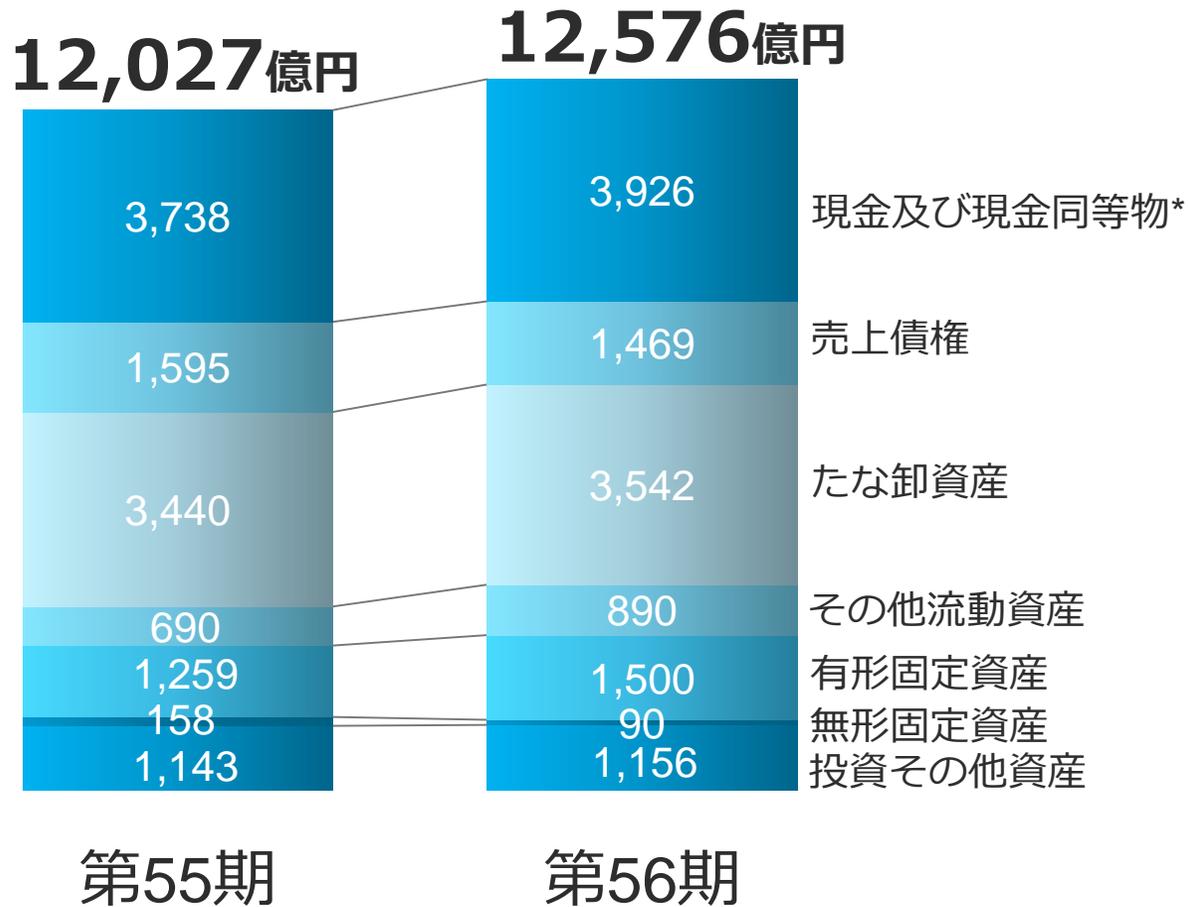
親会社株主に帰属する
当期純利益とROE



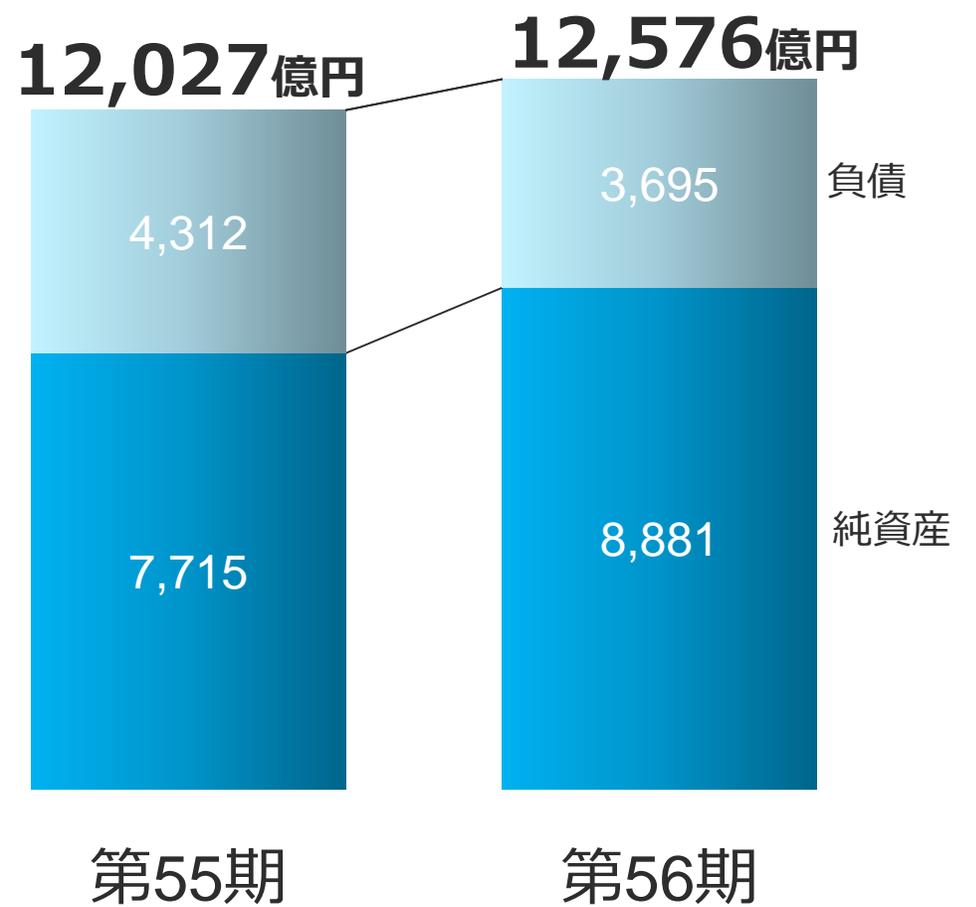
各利益率とROEも高いレベルで推移

連結貸借対照表

資産



負債・純資産



*定期預金 + 短期投資等（貸借対照表上の表示は有価証券）を含む

単独財務諸表の概要

■ 損益計算書

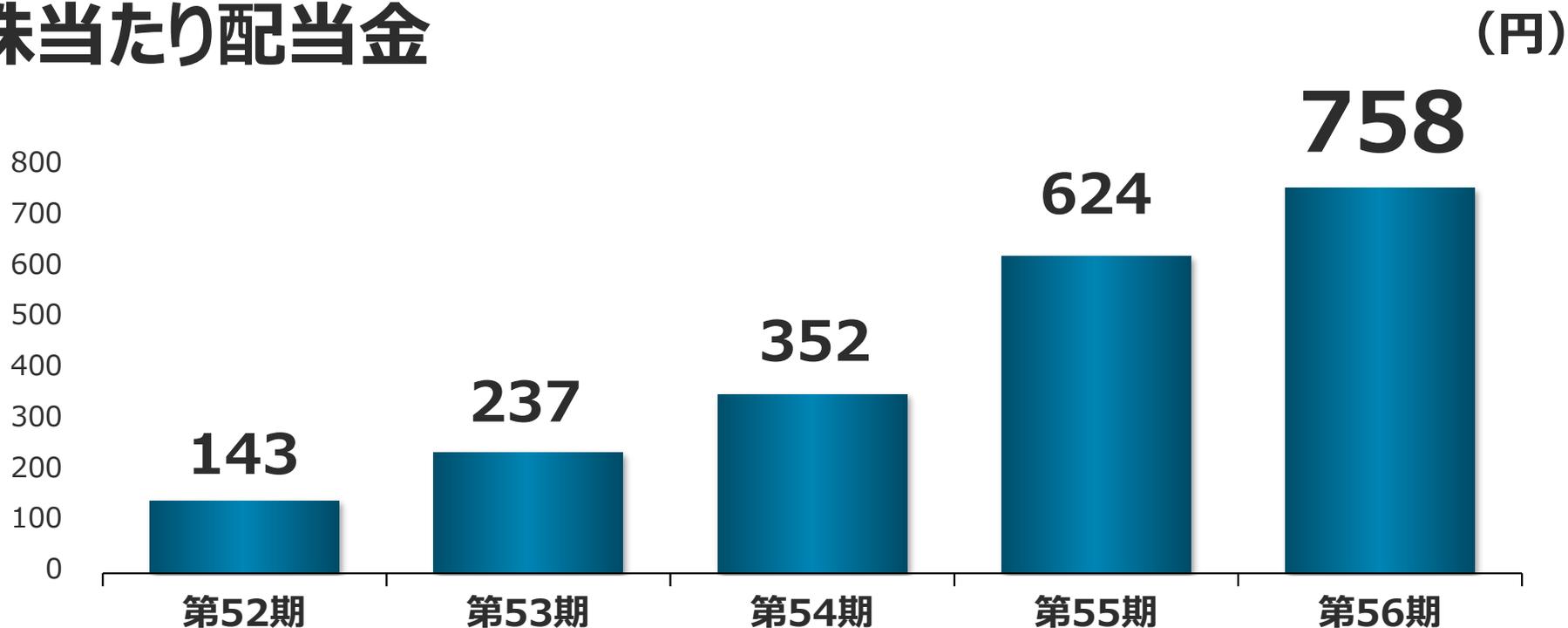
	第55期 (%)		第56期 (%)		増減	(億円)
売上高	10,527	100.0	11,584	100.0	+1,057	
営業利益	1,228	11.7	1,462	12.6	+234	
経常利益	1,285	12.2	3,526	30.4	+2,241	
税引前利益	1,272	12.1	3,596	31.0	+2,323	
当期純利益	913	8.7	3,127	27.0	+2,213	

■ 貸借対照表

	第55期 (%)		第56期 (%)		増減
資産合計	9,940	100.0	9,781	100.0	△159
負債合計	6,361	64.0	4,377	44.8	△1,983
純資産合計	3,579	36.0	5,403	55.2	+1,824
負債・純資産合計	9,940	100.0	9,781	100.0	△159

第56期配当

▶ 1株当たり配当金



	中間	期末	年間
第56期	413	345	758

配当総額	連結配当性向
1,244億円	50.1%

第57期 業績見通し

2019年 顧客設備投資の見通し

■ 年前半の設備投資抑制の影響で、対前年比減少を見込む

- 半導体製造装置 (SPE) : 15~20%減少
- フラットパネルディスプレイ (FPD) 製造装置 : 約30%減少

■ 年後半から回復に向かう見通し

市場背景 :

- CPU*供給不足の改善
- メモリー在庫の解消
- 高性能CPU*リリースに伴うデータセンター投資の回復

*CPU: Central Processing Unit (中央演算処理装置)

第57期 連結業績見通し

	上期	下期	通期	前期比
売上高	4,900	6,100	11,000	△13.9%
SPE	4,500	5,800	10,300	△11.7%
FPD	400	300	700	△37.1%
営業利益	850 17.3%	1,350 22.1%	2,200 20.0%	△29.2% △4.3pts
経常利益	850	1,350	2,200	△31.6%
税引前利益	850	1,350	2,200	△31.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	630	1,010	1,640	△33.9%

(億円)

SPE: 半導体製造装置 FPD: フラットパネルディスプレイ製造装置

今後の市場回復と再成長に向けて、成長投資を継続

さらなる成長を目指して

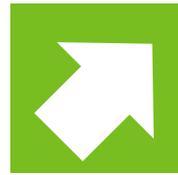
1. 事業ハイライト
2. 事業環境と当社のビジネス
3. 中期経営計画における新財務モデル
4. 当社のESG
5. 株主の皆さまへの還元

1. 事業ハイライト

2019年3月期ハイライト

売上高

1兆2,782億円
(前期比 13.0% 増)



営業利益

3,105億円
(前期比 10.5% 増)



親会社株主に帰属する当期純利益

2,482億円
(前期比 21.5% 増)



ROE (自己資本利益率)

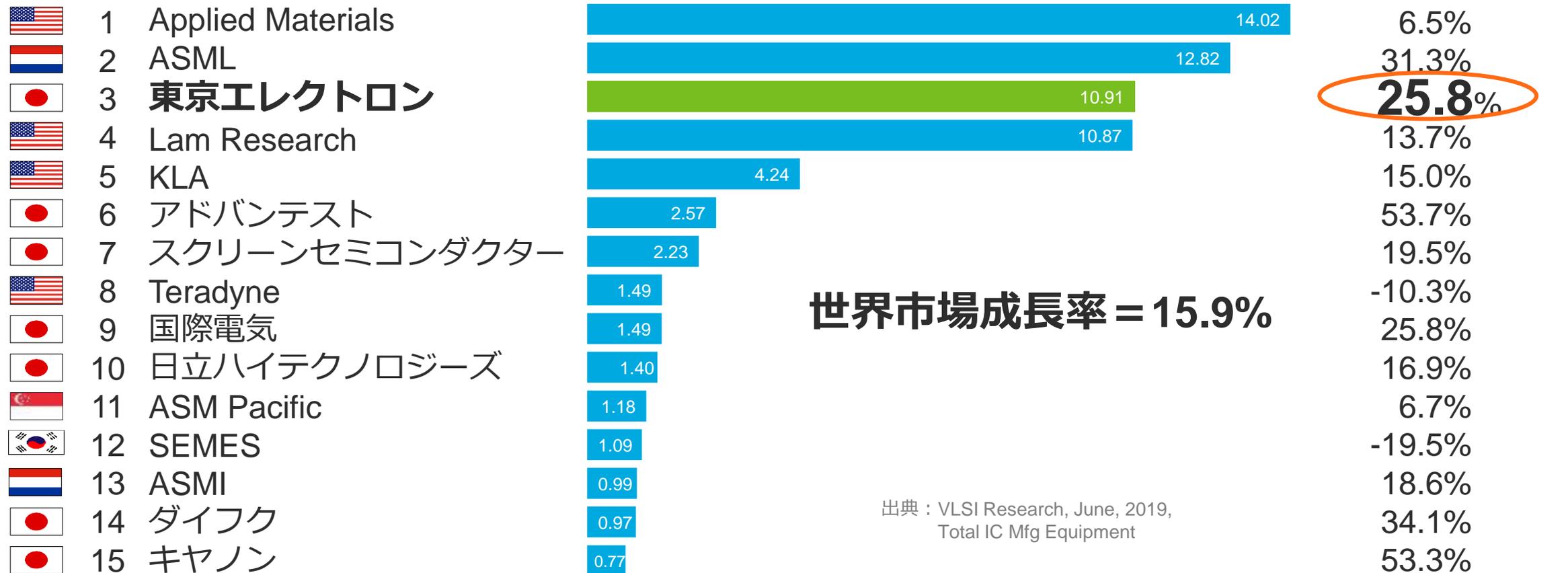
30.1%
(前期比 1.1pts 増)



大幅な増収増益を達成

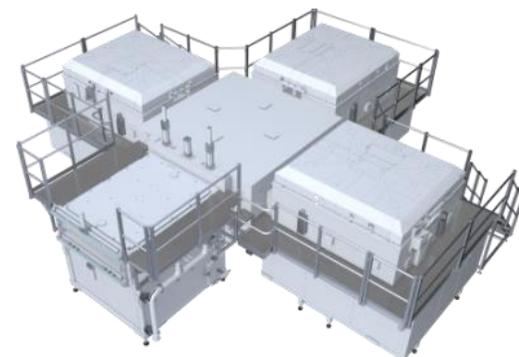
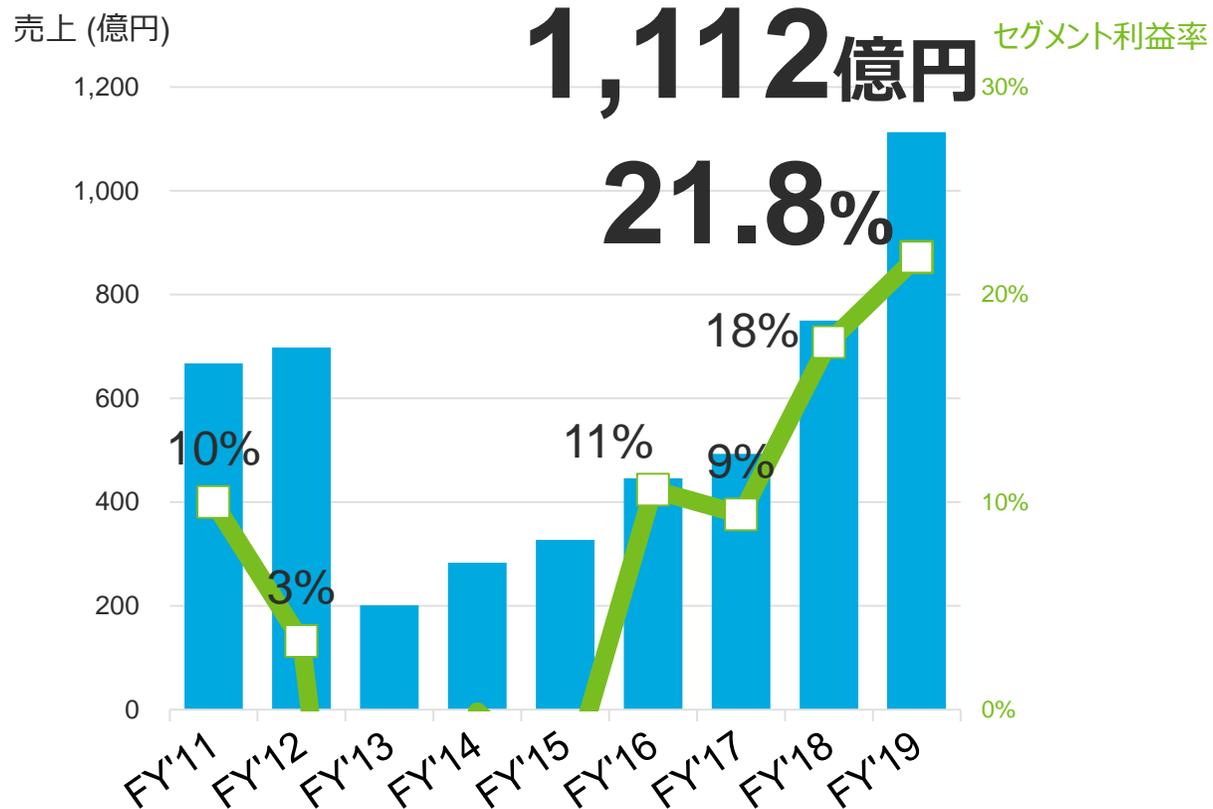
半導体製造装置事業の伸長

CY2018 半導体製造装置メーカー 売上 TOP15 (Billions of US\$)



市場の伸びを超える成長率

FPD製造装置事業の躍進



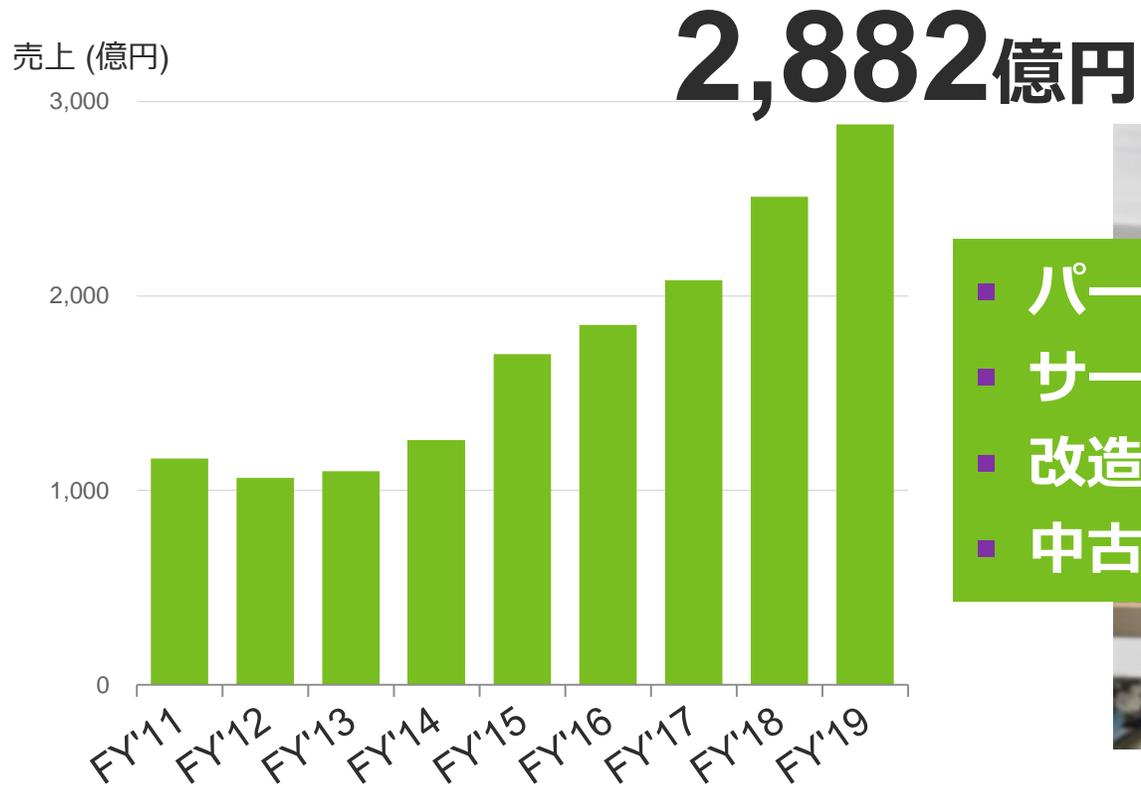
FPDプラズマエッチング/
アッシング装置
Impressio™



有機ELパネル製造用
インクジェット描画装置
Elius™

過去最高の売上高と利益額を達成

フィールドソリューション事業の成長



フィールドソリューション事業売上は、SPE部門およびFPD部門売上に含まれています。



業界最大の出荷台数を生かした安定的な収益事業

直近5年間における比較

半導体前工程
製造装置市場 (\$B)

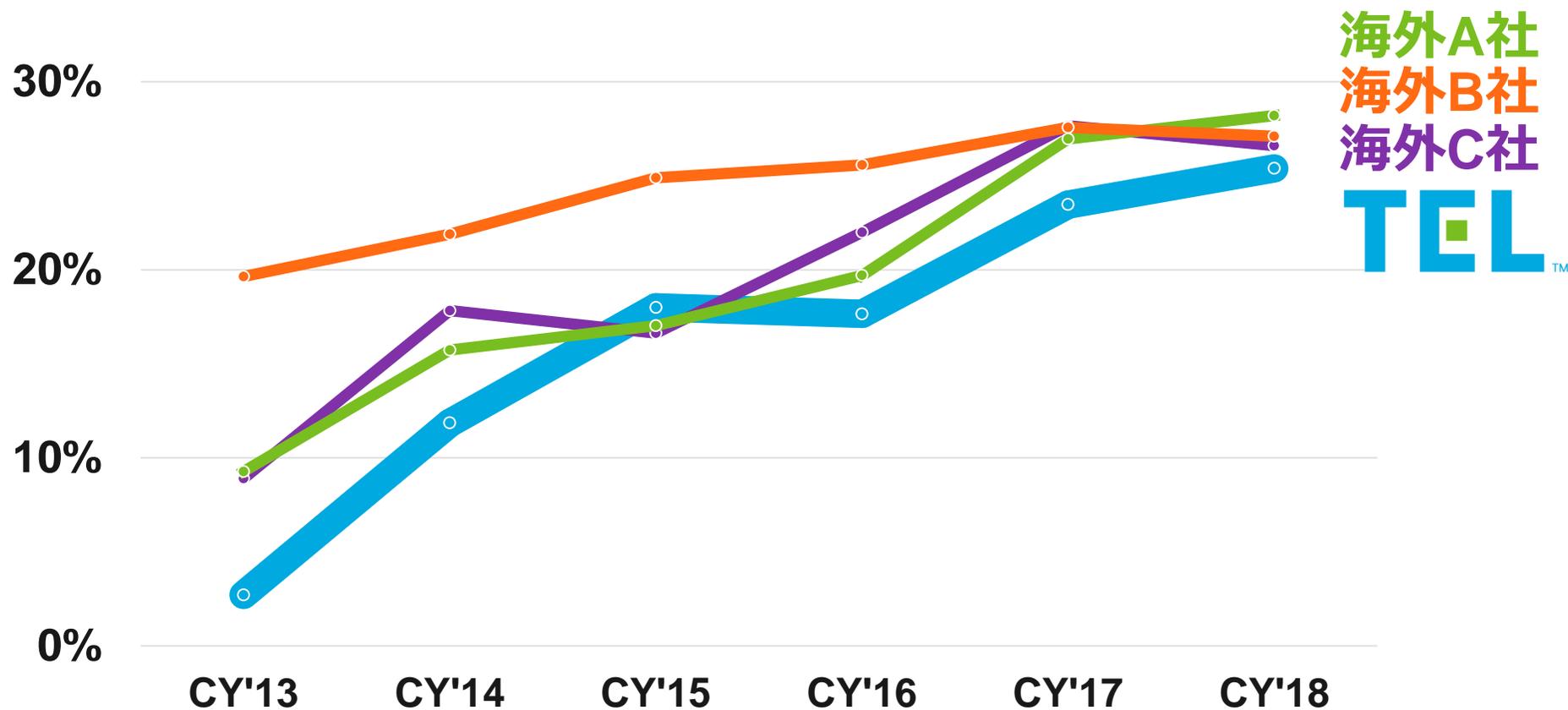
売上高 (億円)

営業利益 (億円)



シェア拡大と生産性向上により、市場を凌駕する成長

営業利益率の競合比較



各社開示の四半期決算情報(GAAPベース)を当社にて暦年に組み替えて表示

目指すのは グローバル No.1 の利益水準

2. 事業環境と当社のビジネス

5G元年 想像を超える未来への第一歩

5G: 第5世代移動通信システム

5G
network

世界データ通信量
年平均伸び率 26%

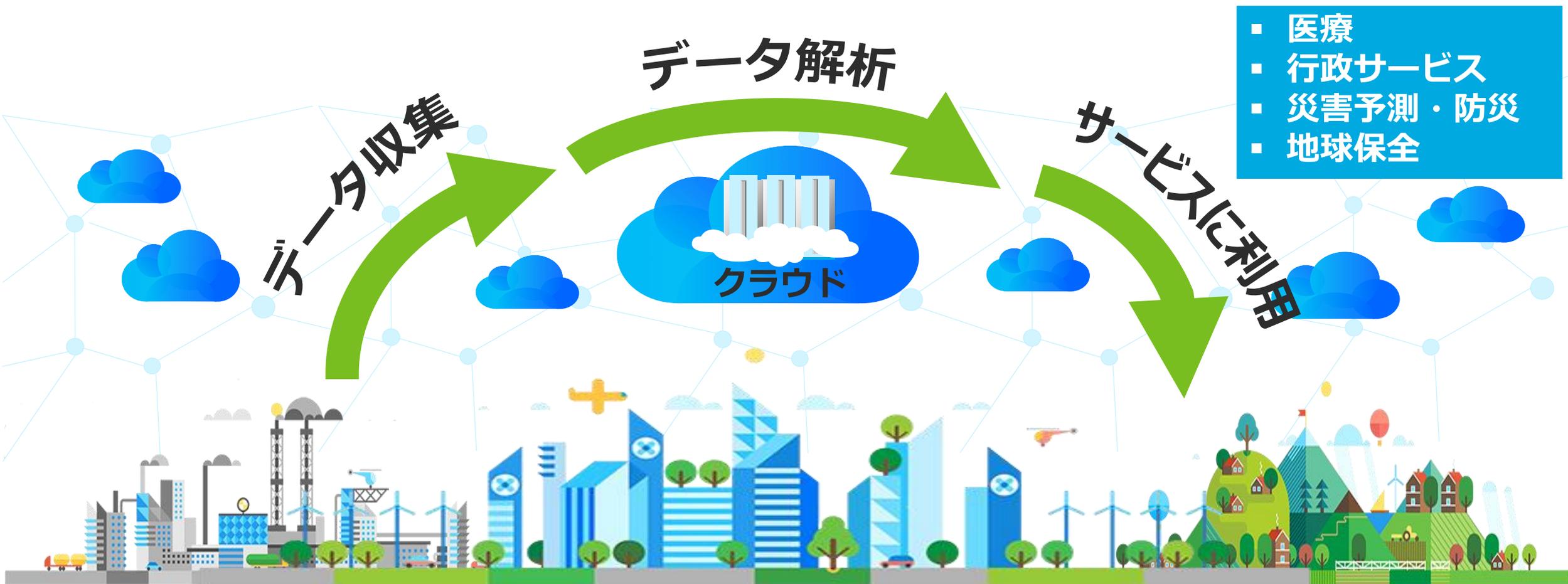
高速 100倍
低遅延 10分の1
同時接続数 100倍
(4G比)

1970 1980 1990 2000 2010 2020 2030

グラフはCISCO社のデータに基づき当社作成。年平均伸び率26%は2017~2022のCISCO社予想。2023年以降はCISCO社のデータを基に当社で外挿

ビッグデータ時代はこれから本格化

ビッグデータは宝の山



データで社会が豊かになろうとしている

ビッグデータ時代を支える技術

IoT VR/AR/MR AI
5G CLOUD



遠隔医療



スマートモビリティ



自動運転



スマートシティ



産業用ロボット



スマート工場



スマートグリッド

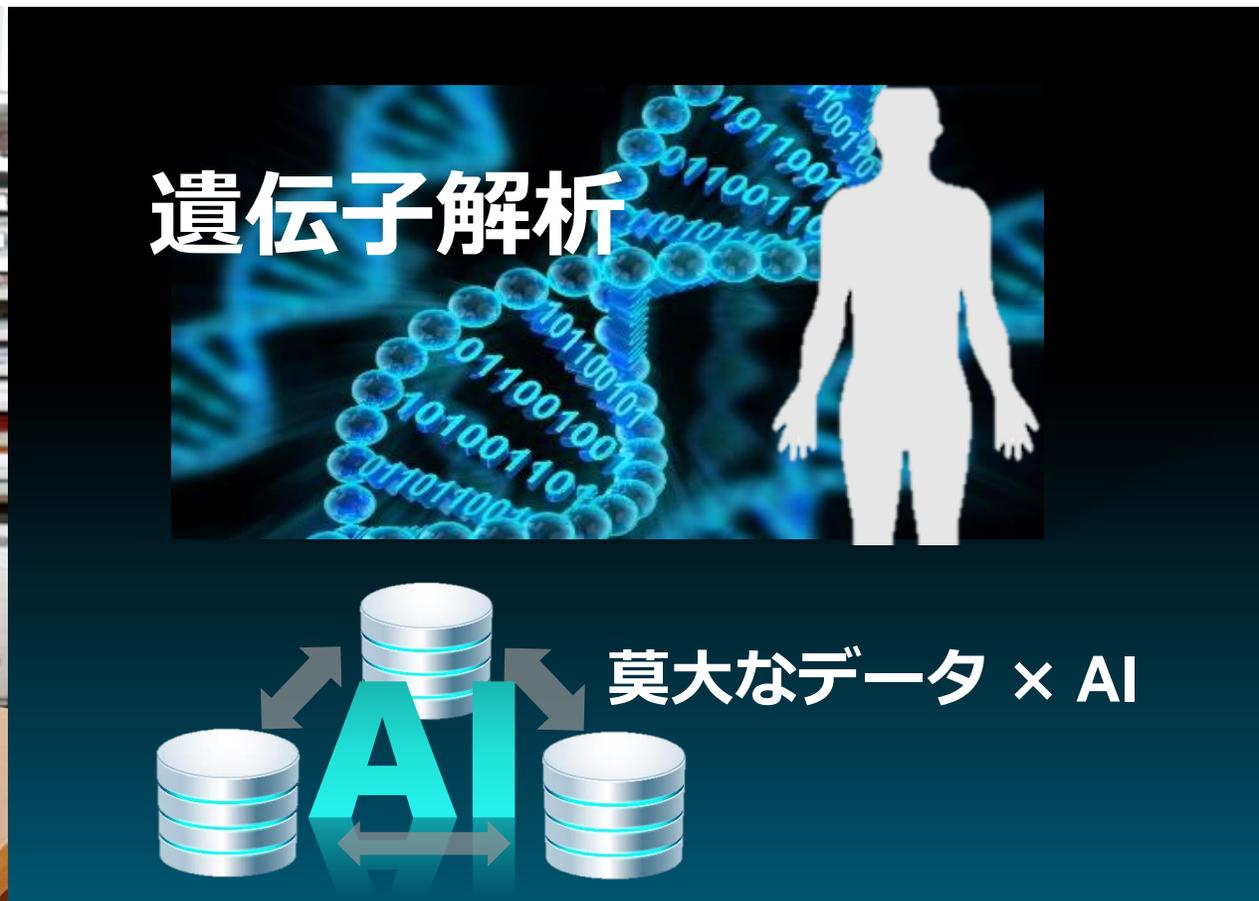
革新的なアプリケーションやサービスの登場

データが切り拓く未来



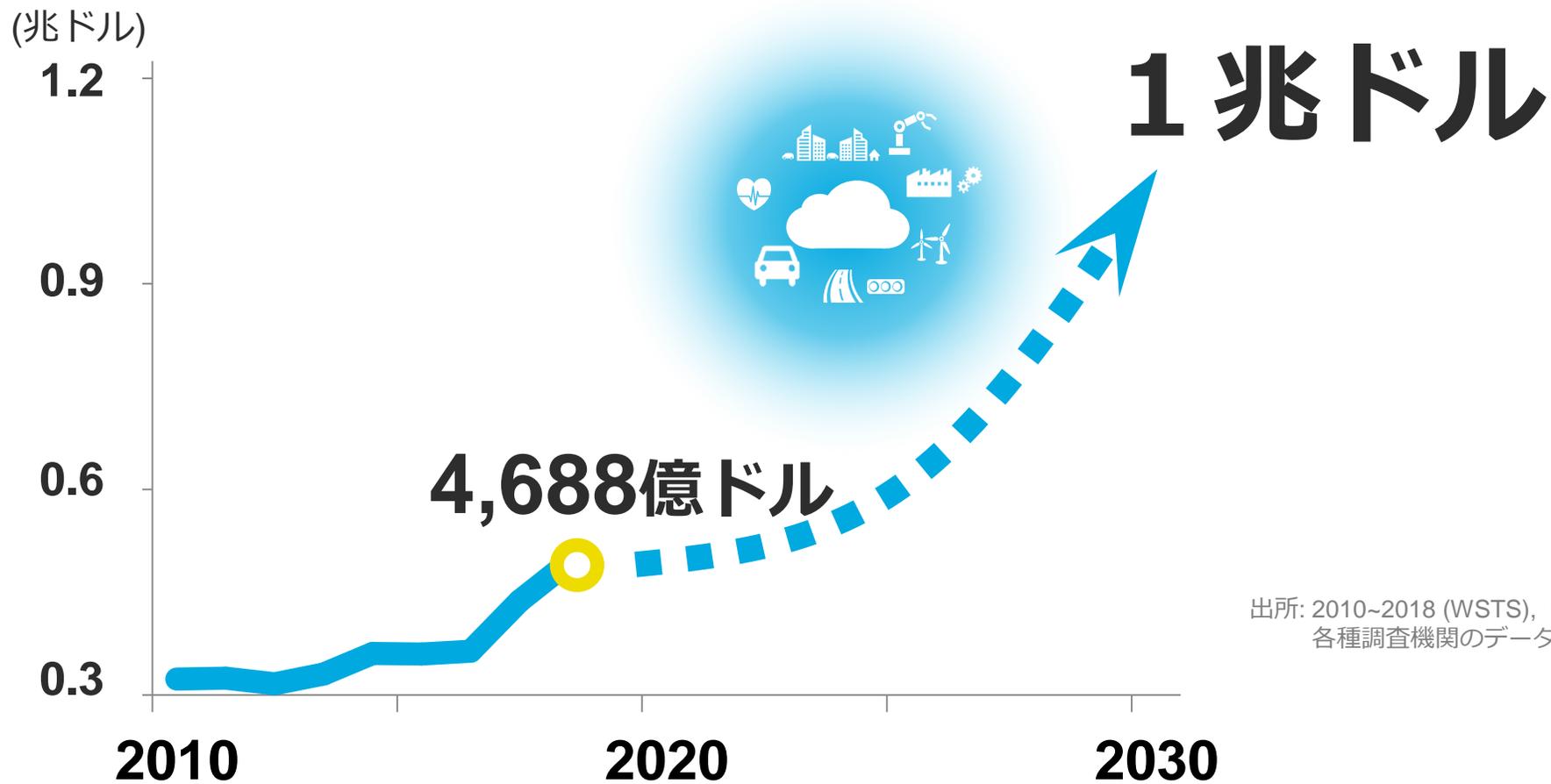
自動運転

データが切り拓く未来



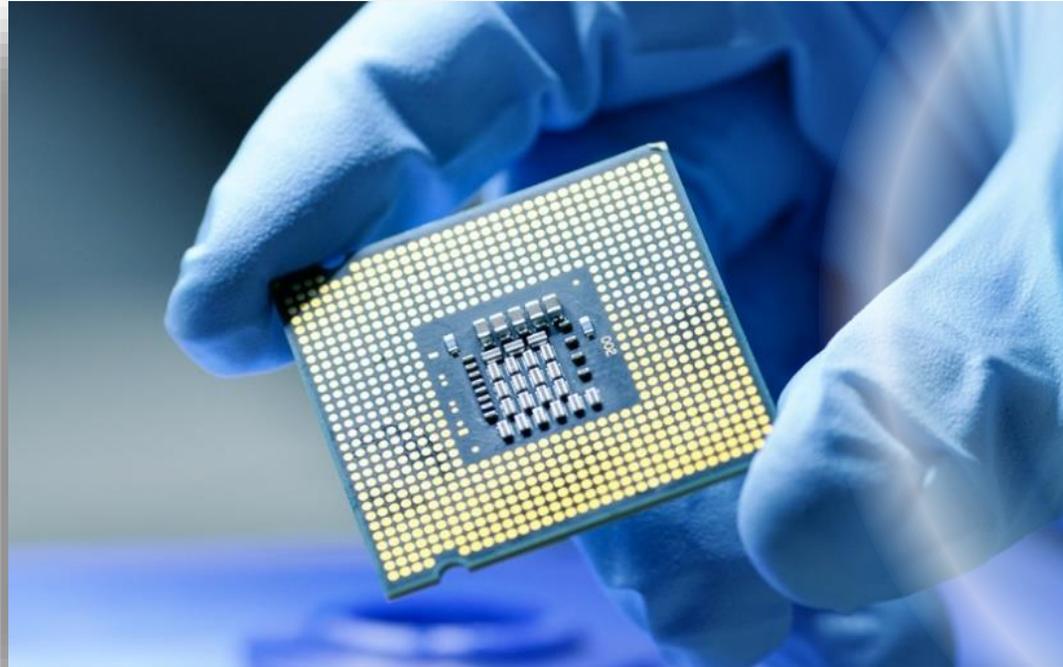
医療の進化

半導体市場展望



今後10年で倍増

豊かさをもたらす半導体に求められるもの

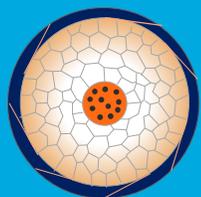


さらに大容量、高速、低消費電力、高信頼性

驚くべき半導体の微細化レベル

20,000分の1

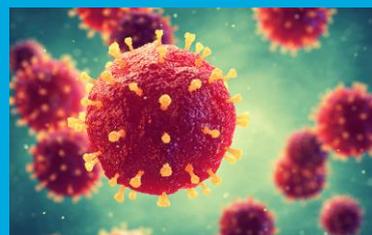
毛髪の直径



煙の粒子

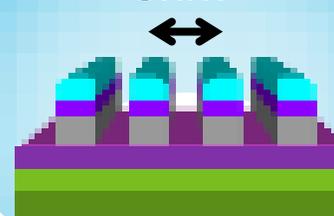


最小ウィルス



半導体
最小線幅

5nm



DNAの幅



0.1ミリメートル

100ナノメートル

14ナノメートル

5ナノメートル

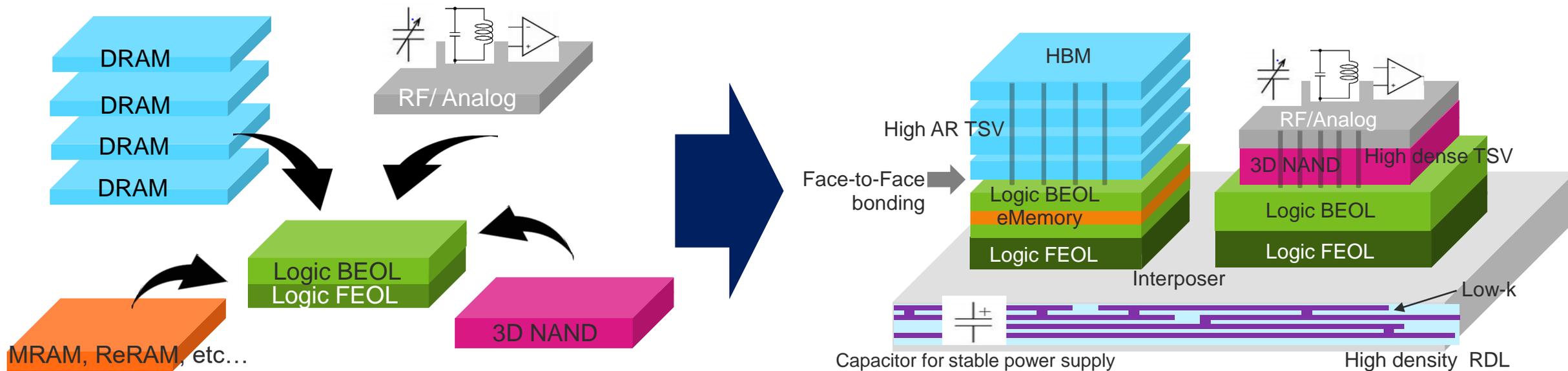
2ナノメートル

1ナノメートル = 10億分の1メートル

半導体技術は究極のナノエレクトロニクスへ

半導体の技術進化は止まらない

未来の半導体 for HPC*/AI/5G/IoT



HPC*: ハイパフォーマンスコンピューティング

技術はさらに高度化、多様化する

装置メーカーに 総合力が求められる時代に

半導体製造装置ラインアップ

主要製品と世界シェア

2位 1位 2位 1位 1位 1位 2位 2位 1位



シェアの高い多様な製品群による圧倒的な総合力

Vision

革新的な技術力と 多様なテクノロジーを融合する

独創的な提案力で、半導体とFPD産業に高い付加価値と利益を生み出す真のグローバルカンパニー

3. 中期経営計画における 新財務モデル

財務モデルの改定に関して

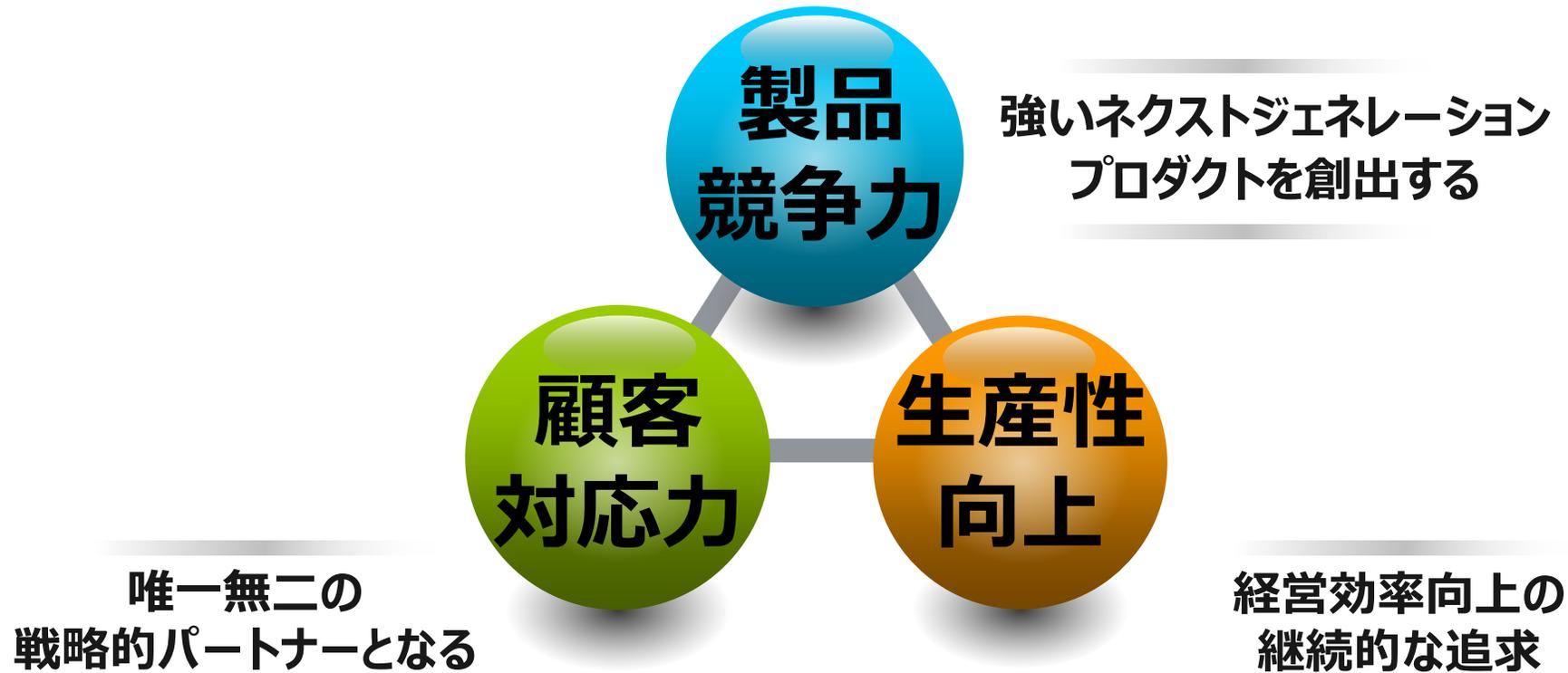
- IoT、AI、5Gの普及で加速するデータ社会。これを実現する半導体用途の拡がりや技術革新への要求により、半導体およびFPD製造装置市場は中長期的な成長が期待される
- 米中貿易摩擦や英国のEU離脱等、マクロ経済の動向を注視する一方、上述の高い成長機会を背景に、昨年発表した2021年3月期を対象とした財務モデルを改定。より中長期の視点でさらなる成長目標を追加

新財務モデル

財務モデル（5年以内）			
売上高	1兆5千億円	1兆7千億円	2兆円
営業利益率	26.5%	28%	>30%
ROE	>30%		

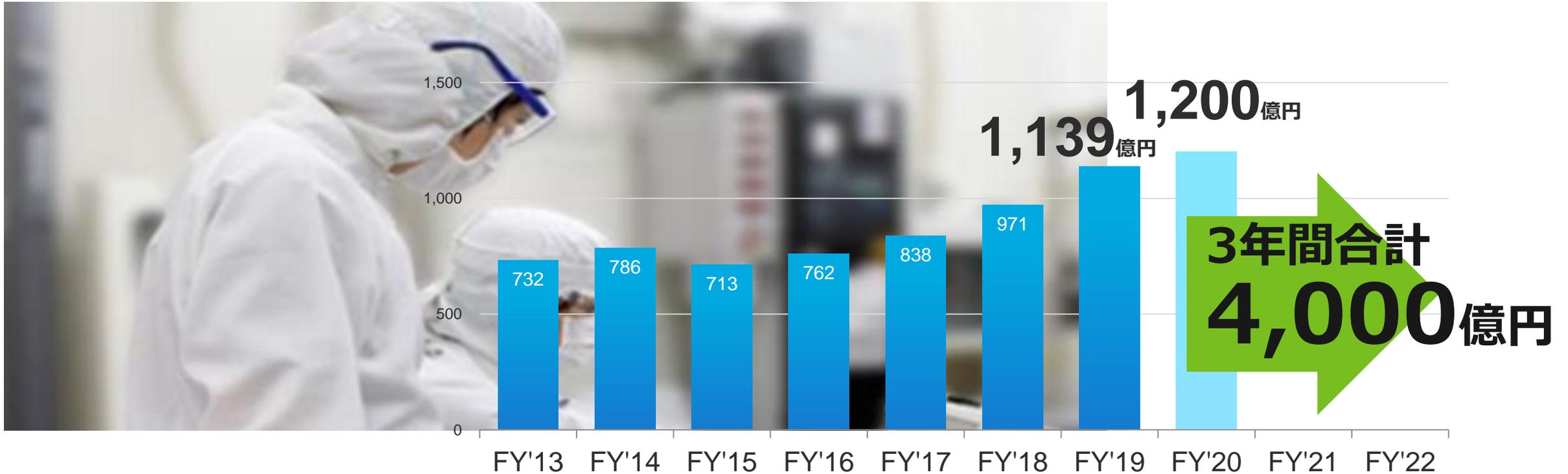
グローバルNo.1 の営業利益率とROEを目指す

成長に向けた3つの強化項目



Best Products と Best Service の継続的 pursuit

研究開発投資



**将来の成長を見据え
今後3年間で4,000億円の研究開発投資**

4. 当社のESG

(環境・社会・ガバナンス)

当社の取り組み



Safety, Quality and Compliance
Our Top Priority

It's our pride

企業価値のさらなる向上に向けて

攻め

ワールドクラスの
営業利益率とROE
30%以上達成

&

攻め

- 安全
- 品質
- 法令遵守
- エンゲージメント



経営のサステナビリティに必要不可欠

地球環境の保全

半導体の省電力化は データ時代の大きな課題



私たちの技術提案で豊かな社会を実現する

2030年に向けた環境中期目標の設定

CO₂排出量 削減目標

製品

30%削減

ウェーハ1枚あたり
(2013年比)

事業所

20%削減

総排出量 (2018年比)

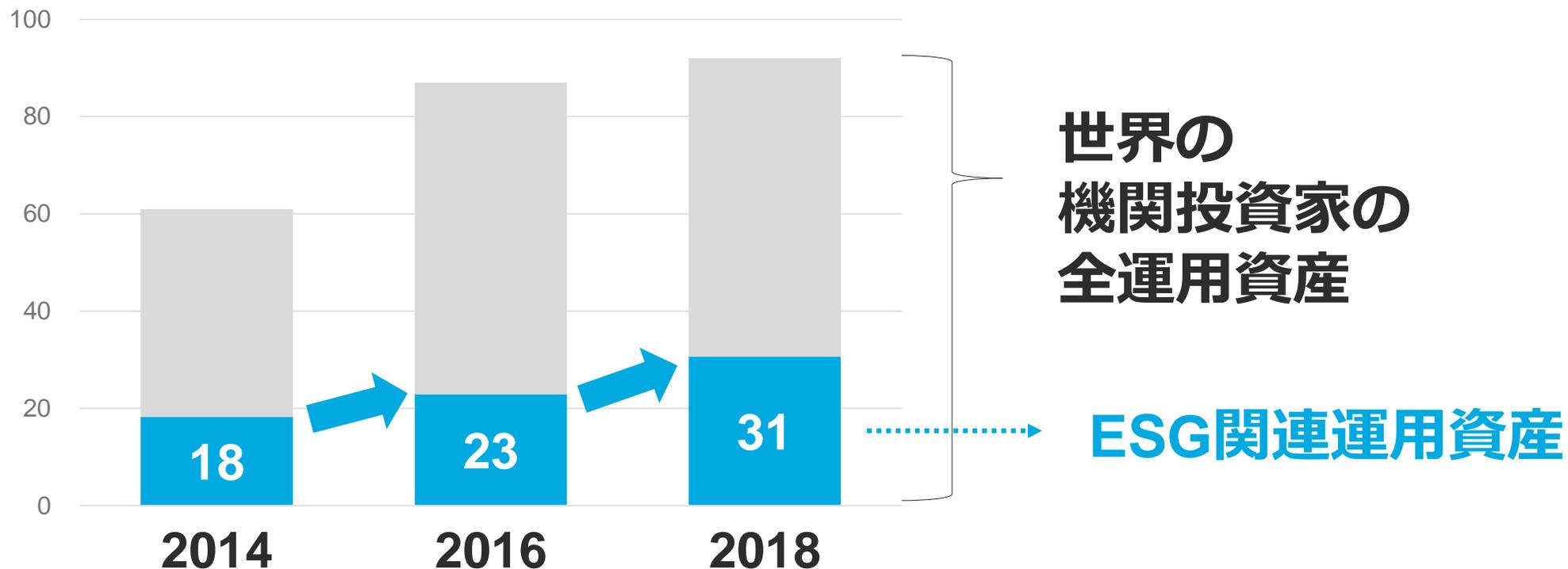
1%削減

事業所ごとのエネルギー
前年度比使用量

環境マネジメントのリーディングカンパニー
として、地球環境の保全に取り組む

ESG（環境・社会・ガバナンス）投資

(兆ドル)



出典: 2016, 2018 Global Sustainable Investment Review

世界で急拡大、全投資額の3分の1に

当社のESG活動への第三者評価

当社株式が組み入れられているESG関連インデックス



当社の ESG への取り組みに、世界から高い評価

5. 株主の皆さまへの還元

還元に関する基本的な考え方

革新的技術力・独創的提案力で付加価値創出



利益の追求・企業価値の向上



ステークホルダーへの適切な還元

配当政策

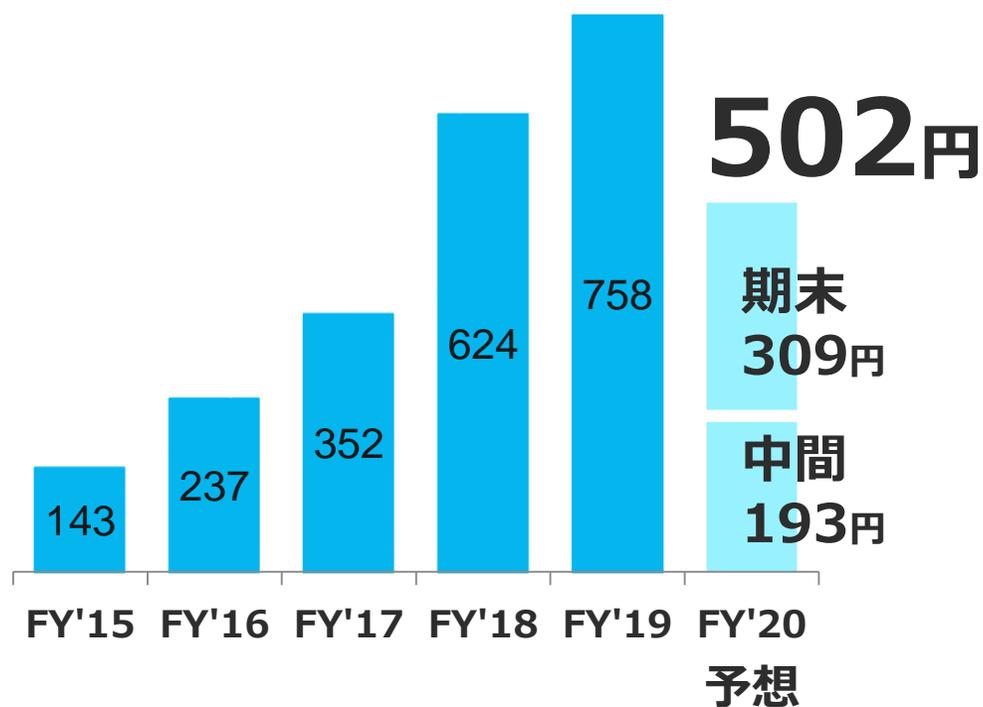
連結配当性向：50%

但し、1株当たり年間配当金150円を下回らない

2期連続して当期利益を生まなかった場合は、配当金の見直しを検討する

FY'20 配当金 予想

1株当たり配当金



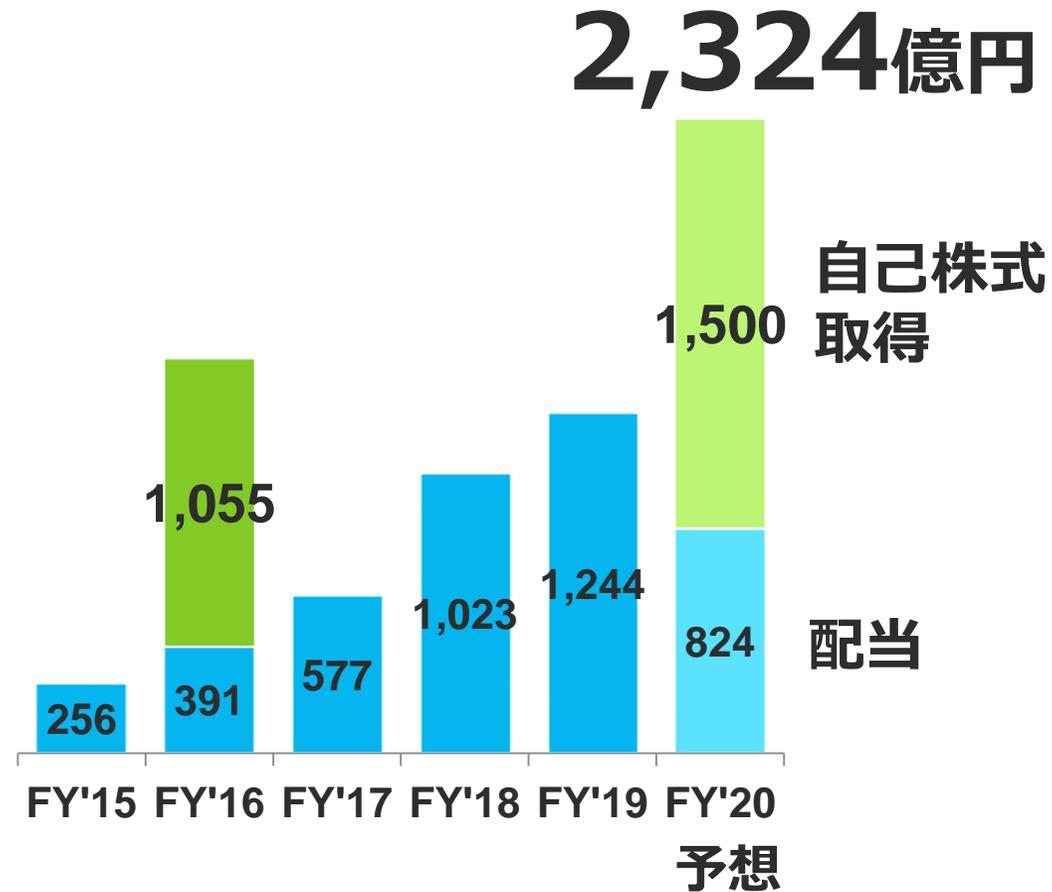
1株当たり配当 502円を予定

自己株式の取得について

最大1,500億円の自己株式取得を決定

- 取得対象株式の種類 当社普通株式
- 取得し得る株式の総数 1,400万株（上限）
（発行済株式総数に対する割合 8.5%）
- 株式の取得価額の総額 1,500億円（上限）
- 取得する期間 2019年5月28日～2019年12月31日

株主還元額 推移



過去最高額の株主還元を予定

**今後も一層の株主価値向上に
取り組んでまいります**

決議事項

1. 取締役 1 1 名選任の件
2. 監査役 2 名選任の件
3. 第 5 6 期取締役賞与金支給の件
4. 当社取締役に対し株式報酬として
新株予約権を発行する件
5. 当社及び当社子会社の役員等に対し
株式報酬として新株予約権を発行する件
6. 社外取締役の報酬額改定の件

第1号議案

取締役 11名選任の件

第1号議案 取締役11名選任の件

<取締役候補者氏名>

- | | | | | | |
|----|------------------------|---------------------------|-----|-----------------------|---------------------------|
| 1. | ^{つねいし}
常石 | ^{てつお}
哲男 | 8. | ^{みたの}
三田野 | ^{よしのぶ}
好伸(新任) |
| 2. | ^{かわい}
河合 | ^{としき}
利樹 | 9. | チャールズ・デイトマース・レイク二世 | |
| 3. | ^{ささき}
佐々木 | ^{さだお}
貞夫 | 10. | ^{ささき}
佐々木 | ^{みちお}
道夫 |
| 4. | ^{ながくぼ}
長久保 | ^{たつや}
達也 | 11. | ^{えだ}
江田 | ^{まきこ}
麻季子(新任) |
| 5. | ^{すのはら}
春原 | ^{きよし}
清 | | | |
| 6. | ^{ぬのかわ}
布川 | ^{よしかず}
好一(新任) | | | |
| 7. | ^{いけだ}
池田 | ^{せいすう}
世崇(新任) | | | |

注) チャールズ・デイトマース・レイク二世氏、佐々木道夫氏及び江田麻季子氏については、会社法第2条第15号に定める社外取締役候補者であります。

第2号議案

監査役 2名選任の件

第2号議案 監査役2名選任の件 ＜監査役候補者氏名＞

1. ^{はらだ}原田 ^{よしてる}芳輝
2. ^{たはら}田原 ^{かずし}計志(新任)

注) 原田芳輝氏、田原計志氏を監査役候補者とする件につきましては、監査役会の同意を得ております。

第3号議案

第56期取締役賞与金 支給の件

第3号議案 第56期取締役賞与金支給の件

第56期取締役賞与金	
対象者	第56期末日における取締役12名 (うち社外取締役3名)
報酬額	総額 22億7,150万円 (うち社外取締役分、5,500万円)

第4号議案

当社取締役に対し株式報酬として
新株予約権を発行する件

第4号議案 当社取締役に対し株式報酬として 新株予約権を発行する件

取締役に対する株式報酬（ストックオプション）	
対象者	本総会で選任される当社取締役 （社外取締役を除く） ※対象者は7名
報酬総額	総額 16億3,830万円の範囲内

第4号議案 当社取締役に対し株式報酬として 新株予約権を発行する件

取締役に対する株式報酬（ストックオプション）の内容

新株予約権の総数	新株予約権数 1,158個（上限） 当社普通株式 115,800株（上限）
新株予約権の発行価額	無償
1株当たりの払込金額	1円
権利行使期間	3年間の権利行使制限期間を設定、 行使期間は新株予約権の割当日から3年を経過する日の翌月1日から、 新株予約権の割当日から20年を経過する日の前月末日までとする
行使条件	① 新株予約権1個を最低行使単位とする ② その他の権利行使の条件は、お手元の招集ご通知をご参照ください

第5号議案

当社及び当社子会社の
役員等に対し株式報酬として
新株予約権を発行する件

第5号議案 当社及び当社子会社の役員等に対し 株式報酬として新株予約権を発行する件

株式報酬（ストックオプション）の内容	
対象者	当社執行役員、当社幹部社員、退任予定取締役 子会社取締役、子会社執行役員、子会社幹部社員 ※対象者は95名
新株予約権の総数	新株予約権数 2,446個（上限） 当社普通株式 244,600株（上限）
新株予約権の発行価額	無償
1株当たりの払込金額	1円
権利行使期間	3年間の権利行使制限期間を設定、 行使期間は新株予約権の割当日から3年を経過する日の翌月1日から、 新株予約権の割当日から20年を経過する日の前月末日までとする
行使条件	① 新株予約権1個を最低行使単位とする ② その他の権利行使の条件は、お手元の招集ご通知をご参照ください

第6号議案

社外取締役の報酬額改定の件

第6号議案 社外取締役の報酬額改定の件

	現行	改定案
社外取締役	1事業年度につき 総額3,000万円以内	1事業年度につき 総額6,000万円以内
改定理由	<ul style="list-style-type: none">・ 昨年開催の第55期定時株主総会において社外取締役を2名から3名に増員・ 将来に向けた社外取締役のさらなる増員可能性への備え・ グローバルに競争力のある報酬水準の変化や社外取締役に期待する役割の拡大	

社外取締役を含む取締役の固定基本報酬額は、現行どおり1事業年度につき総額7億5,000万円以内とし、変更いたしません。